

北海道教育委員会教育長 様

北海道奈井江商業高等学校長 橋 本 功

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 基礎的・基本的な知識と技能を確実に身に付け、主体的に学ぶ生徒を育成する。
 (2) 基本的な生活習慣を身に付け、望ましい道徳心、正義感、責任感、規範意識、自律心をもって行動する生徒を育成する。
 (3) 命の大切さを自覚し、他者への思いやりや感謝の気持ちを身に付けた生徒を育成する。
 (4) 高い進路意識をもち、自己実現を図る能力と態度を身に付けた生徒を育成する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果（4段階）	学校関係者評価の結果（4段階）
学習指導	「基礎・基本を定着させるための授業の工夫・改善」及び「ICT機器等を活用した授業の取組」については昨年度より評価平均自体は上がっているが、更なる改善が必要となっている。	個別指導による学習支援が図られていることと、学習指導要領を踏まえた各教科における観点別評価について良好な評価を得ている。
改善方策	・ICT機器等の活用については、交通障害や危機管理上のオンライン授業対応などについて整備がされている。一方、授業での効率的な有効利用は教科によってばらつきがあるため、今後も研修等で推進していく必要がある。	
生徒指導	全体的に評価平均が上がっているが、特に「保護者との連携」に対する評価平均が上がっている。日頃から保護者のご協力のもと、個々の生徒へのきめ細かな指導が定着できていると判断できる。	家庭との連携を深めながら生徒理解に努めていることと、地域を知る活動等の社会性の育成へ向けた取組に良好な評価を得ている。
改善方策	・特別な配慮が必要な生徒について、一人ひとりに寄り添いながら学年・担任によるきめ細かい指導を継続して推進する。 ・困り感を抱えている生徒等に対し、教職員全体で積極的に関わる体制づくりがされているので今後継続拡大していく。	
進路指導	「キャリア教育を含め、進路選択のガイダンス機能が十分であるか」に対する評価平均が上がっており、保護者と連携した指導ができていると判断できる。	学年・分掌および家庭と連携して進路指導に取り組んでいることが良好な評価を得ている。
改善方策	・3年生不在の年であったが、1・2年生に対する計画的な進路指導、校内組織や保護者との連携による対応は進んでおり、次年度の進路実現に結びつける。	
健康安全	健康に関する「健康調査、健康相談の適切さ」「家庭との連携」「教育相談など悩み等への対応」に対する評価平均が高く、生徒の状況把握及びその対応の徹底が図られていると判断できる。	生徒の実態把握に努めるとともに、職員間の情報共有とPT及びSCと連携した生徒対応を進めていることに良好な評価を得ている。
改善方策	・日常的な対応はもとより、近年の熱中症対策やヒグマ出没対応なども含めて、教職員間での情報共有を綿密に行い、生徒の健康安全管理について徹底する。	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員会、PTA役員会にて公表 ・学校ホームページに掲載 	